

**平成21年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**<みえの舞台づくりプログラム>**

くらし1：企業や地域の団体とともに取り組む子育て・子育て支援プログラム

（旧：企業や地域の団体とともに取り組む子育て家庭への支援プログラム）

（主担当部局：健康福祉部こども局）

**<プログラムの目標>**

地域における次世代育成支援の定着に向け、多くの県内企業において仕事と家庭の両立支援の取組が行われています。また、県内企業や団体等が中心となって次世代育成支援を行う「みえ次世代育成応援ネットワーク」の活動をはじめとして、多様な主体による協働の取組が県内各地に広がっています。

\*さらに、子どもたちが自分、あるいは将来の子どもたちの思いや夢を実現するために何が必要かを主体的に考え、発信し、実践できる環境づくりが始まっています。\*プログラム目標の一部を変更しています。

**<構成事業（担当部局）>**

変更（1）子育て情報交流センター事業（健康福祉部こども局）

（2）ささえあいくらぶ事業（健康福祉部こども局）（H20 終了）

廃止（3）みえの地域きずな創生事業（健康福祉部こども局）

変更（4）企業の次世代育成支援促進事業（健康福祉部こども局）

廃止（5）次世代育成のための環境整備事業（健康福祉部こども局）

新（6）こどもが主役の未来づくり事業（健康福祉部こども局）

（7）子育て家庭応援事業（健康福祉部こども局）

（8）みえ次世代育成応援ネットワーク事業（健康福祉部こども局）

注：(3)は(1)に一部統合して廃止しました。(5)は(4)と統合したため廃止します。

新は新たに追加した事業です。

**<プログラムの事業費>**

（単位：千円）

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額 1	55,690	36,000	35,000	34,000
予算額等 2	53,906	44,335	51,229	

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は当初予算額

**<構成事業の目標>** 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 子育て情報交流センターによる子育て支援の担い手養成人数（累計）	目標値	-	392 人	540 人	580 人	620 人
	実績値	317 人	478 人	540 人		
(2) モデル事業数	目標値	-	14 件	7 件	-	-
	実績値	15 件	21 件	5 件	-	-

[廃止](3) フォーラム参加者数	目標値	-	100人	140人		
	実績値	-	140人	140人		
(4) 次世代育成支援に取り組むモデル事業主等数	目標値	-	10人	30人	30人	30人
	実績値	-	11人	20人		
[廃止](5) 取組促進のための訪問事業所数	目標値	-	100事業所	100事業所		
	実績値	-	141事業所	150事業所		
[新](6) 主体的に参画する子どもの人数	目標値	-	-		40人	50人
	実績値	-	-	(現状) 27人		
(7) 協賛企業・商店等数	目標値	-	100事業者	235事業者	285事業者	335事業者
	実績値	-	185事業者	250事業者		
(8) ネットワーク会員数	目標値	-	600団体	700団体	800団体	900団体
	実績値	494団体	597団体	700団体		

#### <進捗状況（現状と課題）>

- 平成18年6月に発足した「みえ次世代育成応援ネットワーク」に参画する企業や地域の団体等との協働によりさまざまな取組が進められました。今後もネットワークの活動の充実等を通じて、特に企業の次世代育成支援の取組の促進をはかっていく必要があります。
- みえ次世代育成応援ネットワークの取組として、会員相互の助け合いにより、子育て支援活動を促進する「マッチング」事業や、大学生と企業家などが「働く」ことについて話し合う「出前講座」などが実施されました。今後、こうした活動のさらなる広がりや継続性を確保するため、ネットワーク会員の一層の拡大やネットワーク内外の交流・連携を進める必要があります。
- 社会全体で子育てを支える気運を醸成し、また、子育て中の親がそのことを実感できるよう、子育て家庭が企業・商店等からの特典やサービスを受けられる「子育て家庭応援事業」に取り組んでいます。今後、協力企業等の拡大とともに利用拡大についてもはかる必要があります。
- 子どもの育ちを大切に見守ることのできる地域社会の実現にむけ、子ども自身の思いを聴くことを中心に取り組んできました。今後は、この思いを集約して発信するとともに、その思いの実現に向け、子どもたち自身を含めた多様な主体による取組の展開をはかることが課題です。

#### <平成21年度の取組方向>

子ども・子育て家庭に対するとぎれのない支援を進めるため、子育て・子育てに関する地域の取組などさまざまな情報をより幅広く集め、積極的な提供、共有をはかります。

企業における次世代育成支援の取組の促進に向けた啓発を行うとともに、次世代育成支援策を導入する意向のある企業に対しては、アドバイザーを派遣するなど、その取組を支援します。

「みえ次世代育成応援ネットワーク」における一層の連携強化をはかるため、ネットワーク会員企業・団体が相互に情報交換、交流を行う取組を実施します。また、子育て・子育てにかかる社会貢献活動を、より多様な手法で企画・実践し、会員の参加促進をはかります。

「子育て応援！わくわくフェスタ」の開催や「子育て家庭応援事業」などを通じて、子どもや子育て家庭にやさしい地域社会づくりにむけた気運を醸成していきます。

多様な主体による「子育て」支援の取組を促進するため、引き続き子どもの声を集め、子ど

もが主体的に考える場づくりなどに取り組むとともに、こうした子どもたちの活動を地域社会が支え、実践につなげるしくみづくりを進めます。

<他の主体の参画内容>

- ・ 企業は、自社の次世代育成支援の取組を推進するとともに、県や「みえ次世代育成応援ネットワーク」が実施する次世代育成支援の取組に積極的に参画します。
- ・ 地域の団体等は、多様な主体との連携などにより次世代育成支援の取組の充実をはかります。
- ・ みえ次世代育成応援ネットワークは、「子育て応援！わくわくフェスタ」への参画やマッチング機能の活用などにより会員相互の連携を強化する取組などを進め、次世代育成支援の取組の充実をはかります。
- ・ 市町は、企業や地域の団体等が実施する次世代育成の取組に協働して取り組みます。

<主な事業>

子育て情報交流センター事業【基本事業名：33202 地域における子育て支援】(事業(1))

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) 6,443千円 (21) 10,501千円

事業概要： 次世代育成に関する情報の収集、提供を行うとともに、次世代育成を支える人材の育成、地域におけるネットワークづくりの促進に向けた支援を行います。  
(次世代育成講演会開催1回)

企業の次世代育成支援促進事業【基本事業名：33202 地域における子育て支援】(事業(4))

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) 3,896千円 (21) 4,538千円

事業概要： 従業員の「仕事と生活の調和」を実現するため、次世代育成支援に取り組む企業に対して専門家を派遣し、アドバイスを行うほか、次世代育成支援に関する研修会等に講師の派遣を行います。(次世代育成支援に取り組むモデル事業主等30人)

子育て家庭応援事業【基本事業名：33202 地域における子育て支援】(事業(7))

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) 2,741千円 (21) 1,460千円

事業概要： 子育てを社会全体で応援する気運を醸成するとともに、子育て家庭の経済的な負担感を軽減するため、地域の企業や商店等が割引や特典などのサービスを子育て家庭に提供します。(協賛企業・商店等285社)

(舞台新)こどもが主役の未来づくり事業【基本事業名：33202 地域における子育て支援】

(事業(6))

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) - 千円(7,248千円) (21) 10,010千円

事業概要： 子どもたちが思いや夢を発信し、地域の大人などと交流しながら具体化していく場を提供します。子育て支援を視点として地域のさまざまな取組が活性化するように県民意識の醸成を進め、憲章、条例などの検討につなげていきます。(テーマ別こども会議を各地で実施、ユースチャレンジ21提案事業の実施)

